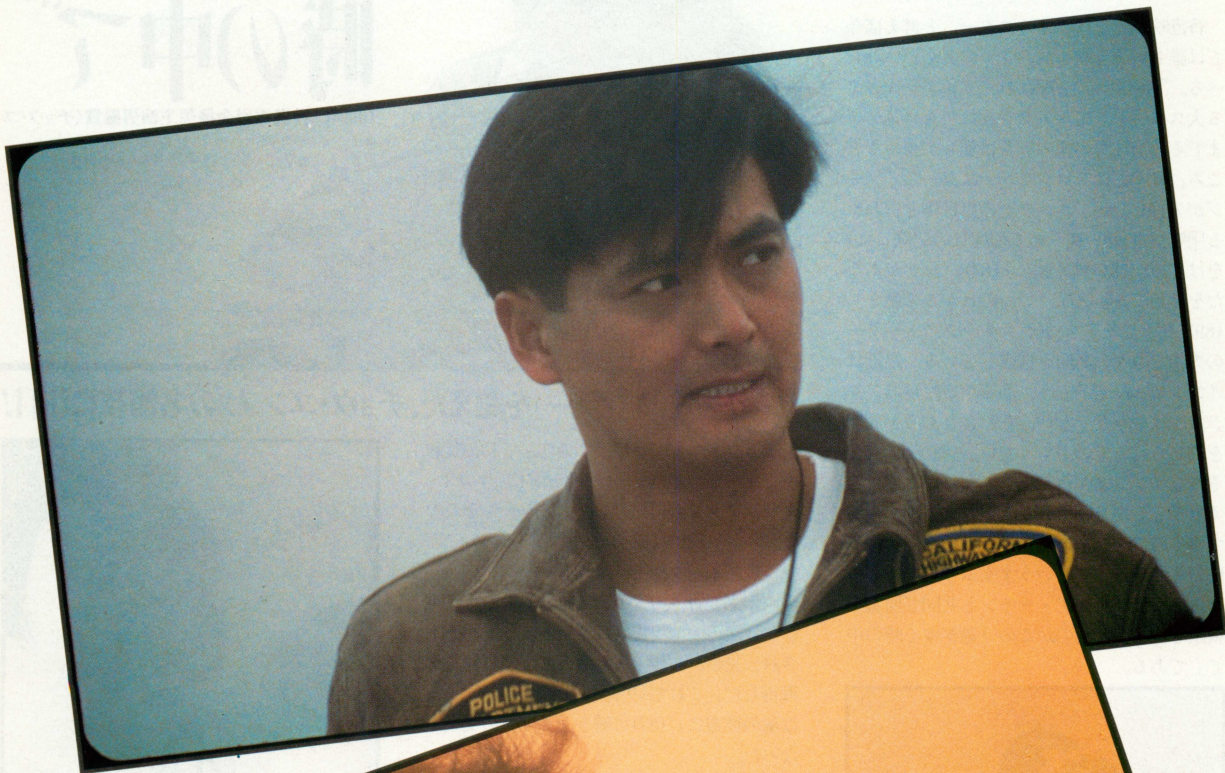


ALL ABOUT AH-LONG

もう一度、あなたと夢を追いかけてたい。



〈誰かがあなたを愛してる〉につづく大人のラブ・ストーリー。

CHOW YUN-FAT
SYLVIA CHANG

■チョウ・ユンファ ■シルビア・チャン

1990年 香港電影金像獎主演男優賞(チョウ・ユンファ)「阿郎的故事」

●ウォン・コン・ユン WONG KUN YUN ●原案: チョウ・ユンファ CHOW YUN-FAT/シルビア・チャン SYLVIA CHANG ●監督: ジョニー・トゥ JOHNNEY TO
●制作: レイモンド・ウォン RAYMOND WONG ●撮影: ウォン・ウィン・ハン WONG WING-HANG ●音楽: ロー・ター・ヤウ LO TA-YAU
●1989年/香港/カラー/ノンストップ制作 ●提供: ホニーキャニオン、ヘラルド・エース、フジテレビジョン ●配給: ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画

過ぎゆく時の中で

チョウ・ユンファ、シルビア・チャン の名コンビが原案を生んだ、 大人のラブ・ストーリー。

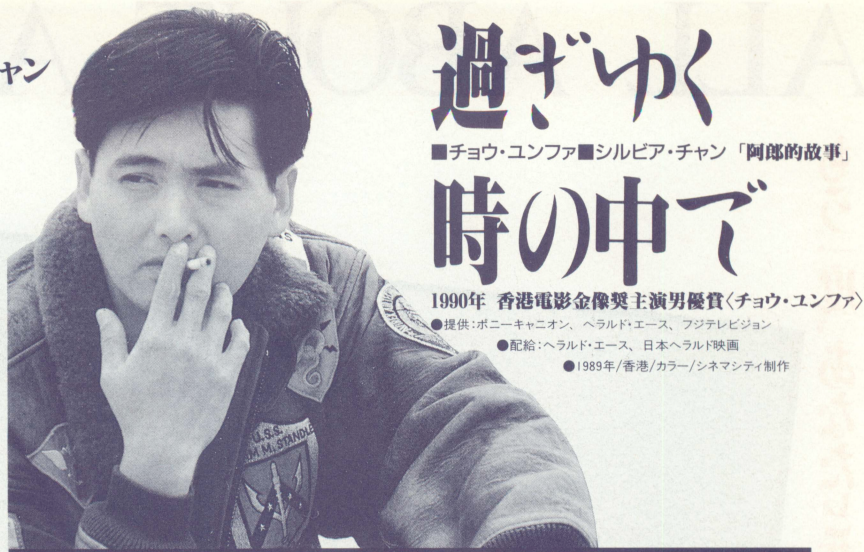
香港映画界を代表するスター、といえば今では誰もがチョウ・ユンファの名を思い浮かべる。「亜州影帝」と呼ばれ、アジアを代表する大スターとして、アクションからコメディまでその演技力の幅の広さは誰もが認めるところ。日本ではアクション・スターのイメージが先行したが、ユンファの出世作と言われる「獣たちの熱い夜―ある帰還兵の記録」(80)をはじめ、「風の輝く朝に」(84)、「誰かがあなたを愛してる」(87)、「いつの日かこの愛を」(89)などシリアス・ドラマやラブ・ストーリーの秀作で数々の名演を披露している。最近ではインタビューで「もう、うるさいだけのアクションはやりたくない、それよりもっと人間を演じられるものをやりたい」と答えていた。そんなユンファが台湾出身で女優だけではなく歌手としても圧倒的な人気で、香港・台湾で多くのファンを持ち、最近脚本、製作、監督まで兼任するという才女ぶりを発揮している名女優シルビア・チャンと共同で原案を執筆し、主演したのがこの「過ぎゆく時の中」である。



’89年、香港を感動の嵐に埋めつくした話題の大ヒット作

アロン (チョウ・ユンファ) は昔オートバイのレーサーだったが今はトラックの運転手をしながら、一人息子ポーキー (ウォン・コンユン) と仲良く暮らしていた。

そんなある日、ポーキーは、CMのオーディションを受け、見事に合格する。早速CM会社へ出向いたアロンは、そこで、10年前、生まれたばかりのポーキーを置いて出ていってしまったシルビア (シルビア・チャン) と再会する。ポーキーは母親の存在をアロンから聞かされ、戸惑い傷つきながらもいつしかシルビアに心を開く。10年ぶりに再会した男と女の大人のラブ・ストーリーをタテ糸に、父と子の愛情を巧みにからませ、心暖まるやさしさが涙をさそう。香港では圧倒的な支持を受け、観客たちの感動の嵐に埋めつくされた。



過ぎゆく 時の中

1990年 香港電影金像獎主演男優賞(チョウ・ユンファ)

●提供:ボニーキャニオン、ヘラルド・エース、フジテレビジョン

●配給:ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画

●1989年/香港/カラー/シネマシティ制作

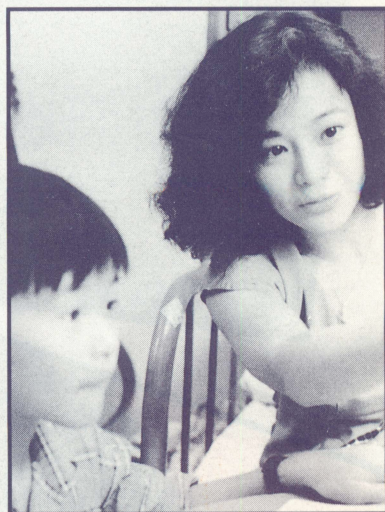
「ゴッド・ギャンブラー」を超えた、チョウ・ユンファの名演技に注目!

チョウ・ユンファは、この作品で初の父親役とオートバイ・レーサー役を演じ、マカオ・グランプリでの自熱のレース・シーンをこなし、新しい役柄に成功を見せている。

その結果、本作と「ゴッド・ギャンブラー」の両作品で香港のアカデミー賞である香港電影金像獎の主演男優賞にダブル・ノミネートされ、見事、本作のアロン役で主演男優賞を獲得した。これで「男たちの挽歌」(86)、「友は風の彼方に」(87)に続き、3度目の受賞となった。

チョウ・ユンファとシルビア・チャンの2人を相手にまわし、香港中の観客の涙を集めたのが子役のウォン・コンユン。チョウ・ユンファをはじめとするオールスター総出演の痛快コメディ「八星報喜」(88)で素人の中から選ばれてデビューした男の子だが、とても新人の子役とは思えぬ名演で、ユンファとシルビアの2大名優を喰ってしまった。この名演でウォンは惜しくも受賞は逃したが、香港電影金像賞の助演男優賞と新人賞の2部門にノミネートされている。

監督はテレビ出身で、86年のホラーコメ



ディ「開心鬼撞鬼」で映画デビューし、「八星報喜」で大ヒットを飛ばしたジョニー・トゥ。これまでコメディやアクションばかりを撮ってきたが、もっと大人のドラマを撮りたいと言うトゥ監督とユンファが意気投合し、「過ぎゆく時の中」を完成させた。本作の大ヒットで以後はラブ・ストーリーやアットホームなドラマをメインに監督や製作を手がけている。

音楽はロー・ターヤウとリチャード・ローの2人。ロー・ターヤウは映画音楽の作曲家としてももちろんだが、それ以上にシンガー・ソング・ライターとして香港、台湾でよく知られている。本作品の主題歌は「Mr. Boo!」や「惡漢探偵」などのシリーズでおなじみのサミュエル・ホイが唄っている。

製作はシネマシティ創設者のひとりレイモンド・ウォンで脚本も執筆、撮影は「アゲイン/明日への誓い」のウォン・ウィンハンがあたっている。



4月20日よりG・Wロードショー!

●前売鑑賞券発売中! 一般1,300円
〔当日/一般1,600円〕

シネスイッチ銀座

CINE SWITCH GINZA

銀座4丁目交差点和光ウラ

03(3561)0707

10:30 12:30 2:30 4:30 6:30 8:30

シネスイッチ本牧

CINE SWITCH HONMOKU

横浜ミカド本牧5番街3F

045(624)3302

11:20 1:10 3:00 4:50 6:40 8:30 金・土10:20